



与謝野町

YOSANO GIKAI

議会だより

夢と希望の
まちづくりに向けて、スタート

主な記事

■ 昨年度決算の審議 ～熱心な審議、全会一致で承認～ …… 2～7

● H17年3月1日の合併に伴い、旧3町と新町の各決算43議案

■ 補正予算 ～活発な質疑～ …… 8～10

● 平和通り(岩滝)改修 ● 学校耐震診断

■ ほかの審議案件 …… 11～12

● 子どもの医療費現物給付へ ● 特別職の報酬引き上げ

■ 8月臨時会 …… 13～14

● 指定管理者制度、男山公民館建設問題で紛糾

■ 意見書・陳情書 …… 14

● 「拉致問題の早期解決を」意見書 ― 全会一致で可決

■ ここが聞きたい(一般質問)～17人が質問～ …… 15～23

● 新町まちづくりや、町政運営などで見解を求める

■ まちの宝 子どもページ …… 24

● 三河内小学校と、岩滝小学校

平成17年度（旧三町と与謝野町・特別会計特別会計含め）

まちの決算総額234億円

全員賛成で認定

九月議会のようす

平成18年8月21日に、臨時議会が開催され、公の施設の管理を指定管理者に指定する議案が16件、工事請負契約の締結3件、一般会計の補正予算など20件、質疑延べ38人が行ない、原案通り可決しました。

平成18年第4回定例議会は、9月11日から10月6日までの26日間開催されました。

今回の議会は、合併後初めての決算議会で、旧三町それぞれの決算、旧一部事務組合の決算、与謝野町平成17年度（3月の1か月分）の決算43件と、条例4件、辺地計画議案1件、補正予算議案7件、変更契約を含む工事請負契約8件、合計63議案が提出され、全議案を可決、承認しました。

議員から「北朝鮮拉致問題早期解決」意見書が提出され、全会一致で可決。

一般質問には、議長を除く17人全員が行ない、身近な問題から地方分権の問題など、町長らに見解を求めました。

質疑は、延べ90人、討論は6人が行ない活発な議会となり、後日、町有線テレビでの録画放映や、インターネットでは生中継されました。

●一般会計決算額（旧三町は11ヶ月分、与謝野町は1ヶ月分）【単位：万円】

区 分	旧加悦町	旧岩滝町	旧野田川町	与謝野町
歳 入	304,071	273,510	353,709	333,579
歳 出	307,787	277,381	337,836	319,442
差 引	△3,716	△3,871	15,873	14,137
不納欠損	15	118	123	0
基 金 (残高)	33,528	53,070	46,684	162,513
地方債 (残高)	371,205	458,166	521,969	1,376,051

※与謝野町の基金と地方債は、平成17年度末残。



決算審議

今回の決算は、旧三町の17年度予算が、合併前日の2月28日をもって打ち切り決算となり、与謝野町に引き継がれたため、旧三町が11ヶ月、与謝野町が1ヶ月の変則決算となりました。

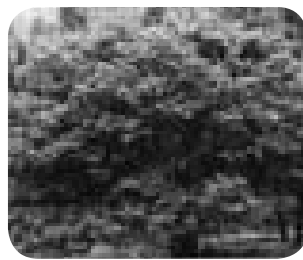
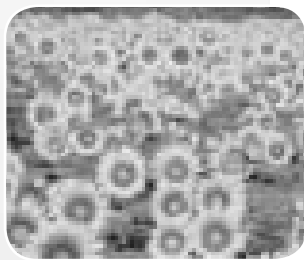
※決算審議は、今回の場合、特別委員会を設けて行った。旧町決算は、合併での人事異動もあり、旧町の担当課長らが、答弁に立ちました。

決算審議は理事者から提案説明を受け、全議員による決算審査特別委員会に付託されました。

決算特別委員会では、延べ54人が質疑を行い、旧町の理事者（担当課長・補佐等）らの見解をただし、43議案すべて原案通り全員賛成で認定しました。

質疑

服部、森本、伊藤、小林、谷口、有吉、廣野、今田、井田、糸井、畠山、多田、浪江、上山、家城、野村



●おもな特別会計

【単位：万円】

主な特別会計		旧加悦町	旧岩滝町	旧野田川町	与謝野町
国民健康保険	歳入	58,697	48,922	81,490	64,720
	歳出	65,200	48,078	100,087	61,769
老人保健	歳入	55,461	43,748	84,309	37,406
	歳出	54,218	41,867	85,596	36,828
介護保険	歳入	55,094	33,589	58,435	36,150
	歳出	56,431	33,174	62,025	33,630
簡易水道	歳入	12,792		21,501	50,639
	歳出	14,056		49,364	49,152
下水道	歳入	24,492	36,598	39,152	87,600
	歳出	31,551	38,507	53,676	86,714
農業集落排水	歳入	928			1,384
	歳出	1,152			1,383

17年度旧町特別会計など34議案（旧加悦町10、旧岩滝町6、旧野田川町8、与謝野町10）が提出され、質疑、採決の結果、全員賛成で認定されました。

特別会計決算

17年度旧岩滝町水道事業会計は、18年2月28日で打ち切り決算となり、与謝野町に引き継がれました。よって、旧岩滝町11ヶ月、与謝野町1ヶ月の決算となり、質疑、採決の結果、認定されました。

水道事業会計

●水道事業会計 【単位：万円】

		旧岩滝町+与謝野町
水道事業	事業収入	14,349
	事業費用	16,975
	資本的収入	3,768
	資本的支出	6,504

※今回の決算質疑は特別委員会での発言も例外的に掲載しています。

各一部事務組合は、18年2月28日をもって解散となり、与謝野町一般会計の3月分暫定予算に引き継がれました。11ヶ月の決算となり、質疑、採決の結果、全て認定されました。

一部事務組合会計

●一般事務組合会計 【単位：万円】

一部事務組合会計		旧3町
野田川環境衛生組合	歳入	19,066
	歳出	16,811
加悦谷学校給食組合	歳入	16,811
	歳出	17,290
火葬場組合	歳入	3,205
	歳出	2,401

決算審査特別委員会の報告（要旨）

同特別委員長 赤松 孝一

決算審査は、監査委員より17年度決算審査意見書が提出され、係数の誤りが無いことを認められているので、予算が議決した趣旨と目的に従って、適正で効率的に施行され、どのように行政効果が発揮出来たのか、今後の行政運営においてどのような改善工夫がなされるべきかという点に着眼点をおき、審査を行なった。質疑応答では、評価できる点、問題点など多く出されたが、付託された全ての議案が全委員の賛成のもとに認定された。

旧加悦町 一般会計決算質疑

循環型農業は

時代に合っている

服部博和議員

質問 今消費者は食の安全を希求している。この事業は的を得ている。うまく行っているのか。

農林課長 お陰でうまく行っている。生産者も利益率が上がる上消費者にも喜ばれるのでやりがいがある様だ。今後も拡大の方向で進めて行く。

旧加悦庁舎の耐震は？

質問 二度目のお務めで近く開店するこの施設に期待しているが、耐震性は大丈夫か。

企画財政課主幹 府の文化財にも指定されている。当時の物としては丈夫に出来ている。



三度目のお務め!! (旧加悦町役場)

不要額が多いのは？

質問 合併を控え二月末で締められた事は理解しているが、それにしても不要額が多い。何故か。

行政課長 台風23号の災害復旧事業がすべて完了していない。その為それに伴う予算を繰り越している。その為他町に比べ二〜三億円程度多い。

加悦町最後となる

予算執行の総括は

森本敏軌議員

質問 17年度は合併を控え最後を締める予算となり、財政厳しい中、災害復旧、耐震対策へ重点的に取り組まれたが総括は。

振興課長 災害復旧が第一に、十分な経費を投入した、公共施設の耐震策にも重点をおいた。財政が非常に厳しい中で後退は許されないという事で予算執行したが、地域要望に応えられなく迷惑をかけた部分があった。

災害復旧は完了したか

質問 台風23号による、

農業関連、公共土木の災害復旧は完全復旧に至っているか。

主幹 農業関連、公共土木ともにほぼ完了しているが、河川復旧に、もう少し期間が必要。11月末にはすべて完了する。

町税収納の状況は

質問 旧加悦町の町税の徴収が納税組合から個人納付に替わり、収納率が低くなっているようだが。

係長 制度が大きく変わり、収納率は若干落ちておるが、振替納税も増えており町民の納税意識は高い。

このままでは

町の農業が崩壊する

伊藤幸男議員

質問 「有害鳥獣対策は繰り返し壊され、高齢農家には対応できん。動物愛護もいいが農家が生きていけん。高齢で町の農業は今後5年と続かん。抜本対策を」の声が。

農林課長 今後は集落で守ることに。鳥獣対策は一層検討していきたい。

特徴ある予算項目に關心

小林庸夫議員

質問 「緊急不況対策費」が設けてあるが地域に対する思い入れ…というものを感じた。新町にも是非こうした特徴のある項目の設定を望みたい。

課長 考えたい

旧町の良さを生かし

新町の建設を

伊藤幸男議員

賛成討論 小西町政は「福祉の加悦町」と呼ばれた施策の一つ「障害3, 4級医療助成」を廃止した。合併協議では「4つの約束」を守れず、広い面積と高齢化、少ない自主財源の下で、先人が築いてきた「町の良さ」の主張が貫徹できなかった。

しかし平和を守る立場を貫き、国の地方財政対策に反対し、町の不況対策で住宅改修助成制度を続け、台風被害では画期的支援対策を実施したことを高く評価する。

合併した今、「加悦町の良さ」を新町で生かして頂きたい。



もう災害はゴメン!!

旧岩滝町 一般会計決算質疑

クアハウスの経営状態は

服部博和議員

質問 支配人不在、レストラン部門の外部委託、入館料の値下げ等コンサルタントの指導を受ける中で経営状態は改善されたのか。

産業観光主査 入込客は横ばい、売上額はダウン、十七年度は二千八百万円の赤字が出た。

旧三町の申し送り

継続事業の見直し

井田義之議員

質問 歴史もあり経過も大切だが、新町として見直しが必要ではないか。

町長 与謝野町が基本であり、事業が全町民に良いのか、コンセンサスを得る必要がある。



より安く、より美味しく！楽しい給食（岩瀬小にて）

山間地負担軽減策を残せたか

伊藤 幸男 議員

質問 水洗化事業は山間地の住民負担が高くなるので、加悦町が助成してきた。これを合併協議で無くせと岩瀬から主張がされたが、課長補佐 4 回程町長と話し理解を得た。

一部事務組合決算

学校給食の食材・地元産に

今田 博文 議員

質問 学校給食の米、野菜の地元での調達率を上げることが出来ないか。

町長 野菜は 30% を地元産で賄っている。米は残留農薬の検査も行い安全に配慮し学校給食会で購入している。

給食費 3 人目を安く

質問 給食費は一人 3,900 円で子供が 3 人いれば多額になる。一万円以下にならないか。

町長 検討したい。

給食費の徴収に力を

質問 給食費の滞納が多い。学校任せにしないで徴収の努力を。

町長 学校を通じて指導する。

介護者慰労金少なすぎでは

畠山 伸枝 議員

質問 慰労金は五万円だが介護度によって苦勞は全然違う。ランク付けはないのか。また、府の制度があるがハードルが高過ぎて使えないと聞いている。どんな制度か。

地域振興課長

慰労金は 17 年度に七万円から五万円に引き下げになった。

旧野田川町一般会計決算質疑

緊急対策融資は

順応・迅速な対応を

家城 功 議員

質問 旧各町この緊急対策融資にはそれぞれの枠組で対応していただいている。新町でも新たな枠で対応準備されている。先日も大手呉服販売メーカーの倒産もあり当町にも影響ありと考える。先ず現況をきつちりと把握し、順応した迅速な対応をお願いしたい。

商工観光課長 今後の影響も含め、状況把握に努め対応する。

ランク付けはない。

府の制度は十万円だが対象者は要介護度 4 か 5 で町民税非課税。その上サービスを受けていないという条件がある。

質問 ハードルを下げて使える制度にするように府に要望すべきでは。

町長

介護に疲れた方に対する配慮を示すよう、府に要望したい。

ゴミ広域事業

このままでは重大事態

伊藤 幸男 議員

質問 ゴミは宮津に委託し、日立系企業に再委託。地元波路との協定期限は来年 3 月。「秘密協定」コピーを入手した。市は認めてないが市長公印もある。半年後の期限なのに市は地元協議もせず、異常だ。この広域化計画の事態をどう思う？

町長 五年前の広域化協議の原点にたち、宮津市に強く申し入れたい。

今小学校の統合を

考える時期では

服部 博和 議員

質問 校舎、プール等老朽による危険箇所が多く見られる。又少子化による児童数の減少も顕著だ。統廃合を考える時ではないか。

教育長

校舎の老朽化は全般的だ。適正規模、適正配置についても再考の時だ。行政の合併は財政の問題だった。学校だけが例外でない。町長部局と連携を取り出来るだけ早く検討して行く。

道路幅のせまい所あるが

小林 庸夫 議員

質問 町内を廻って狭い道路が多いと感じる。道路幅の確保の指導を望む。

建設課長

都市計画を前向きに考えたい。

与謝野町一般会計決算

合併でリスクが

生まれる。どうする

伊藤 幸男 議員

質問 全国の合併先進地では合併効果よりも住民サービス低下や大きな難題が発生しているが？

町長 本町の対応は住民負担のないよう、声も聞いて進めていきたい。



町内は危険がいっぱい狭い道

府営住宅建設の要望

有吉 正議員

質問 6月議会の一般質問で府営住宅建設の府への要望を質問した。堀口助役は府の要職におられた方だ。厳しいでしょうがお願いしたい。

町長 明石住宅二棟目の次となるが、岩屋にも建設の要望を府へ申し入れた。地元の一層の熱意と協力を。

猪、鹿対策 犬の活用

質問 このままでは地域は崩壊するという議員の声もある。私も同様、地域の危機だと思う。電機

柵等完全ではない。この原因は様々な言われているが、犬の放し飼いが禁止

されたのも原因の一つではないか。古来より人と犬との関わりを考えると、犬が山の獣から里を守っていたのではないか。犬の訓練士さんに聞く

と訓練は可能とのことだが、多くのハードルがある。行政の力も必要。

住民環境課長 法律の中味や農林課とも連携して勉強する。

クアハウスとリフレ

質問 17年度決算でクアハウスは、配布された入浴券の利用分を町が払いながら、二千八百万円の収入不足がおきている。一世帯一千万超の負担をしていることになる。18年度は一千万の予算がつき、同じ町の施設でおかしい。

町長 両方とも町の施設であるが、経過の違いもある。今後の検討。



人と動物の智恵くらべ！深刻な問題です

高齢者の税負担を

軽くする方法を

畠山 伸枝 議員

質問 税制改正によって多くの高齢者が負担増とな

ったが、家に介護認定を受けた人が居る家庭は障害者控除ができる。対応と利用状況はどうであったか。

税務課長 旧加悦町で実施されていた。

質問 京田辺市では介護認定証送付の時に制度案内を一緒に送り、認定してほしい人は申請するという方法を検討中と聞いたが。

福祉課長 65才以上の高

齢者については障害者手帳がなくても町の認定によって控除を受けてもよいことになっている。税務署と協議をして控除の



介護は本当に大変なんです

扱いについて対応を考えたい。該当者に知らせることは必要なのでそのことも含めて検討をしたい。

高金利の繰り上げ

償還はできるのか

小林 庸夫 議員

質問 一般会計・特別会計の借入金金利・その時代の金利ゆえ高いのもやむえないが一部でも借りがえし繰り上げ償還は出来ないものか。

企画財政課長 政府資金は繰り上げ償還したくてもそのための民間借入れすることは制度上許されておらず認めてくれないのが実情。ちなみに昨年度三町分の支払利息合計は概算四億七、八千万位かと言え

経常収支比率

これで良いのか

井田 義之 議員

質問 健全財政の判断指標のうち、経常収支比率は70、80%が正常値であり、マニフェスト95%は高すぎると指摘してきた。今決算では96%である

が減税補てん債、臨時財政対策債を分母から除くと百三・八%となる。今後の財政対策は。

企画財政課長 三位一体改革等により分母が小さくなり、一方経常経費の増、国保・介保等への義務的な繰り出しも多く、70、80%は不可能である。今後は収入では滞納整理、支出では人件費・物件費・公債費等を削減し硬直化を防ぐ努力が必要

体育施設

もつと使いやすく

今田 博文 議員

質問 体育館、グラウンド

を使用するとき①前金を納めなければならない②一週間以内にキャンセルすればお金は返さない③空いていても次の人に使わせない。こんな制度を旧3町のどこかが行っていたのか。

教育推進課長 どこも

やっていない。

質問 町民の使いにくい

使用方法は改めるべきだ。

教育推進課長 改善する。

区対抗伝なぜ中止に

質問 長年続いてきた区

対抗駅伝大会が今年では中止になった。教育委員会の関わり方は。

教育長 今日までは、体

協の事務を預かり手伝いをしてきた。新町においては、地域が中心になり進めてほしい。

質問 だんだん役場と町民の間に距離ができてい

る。このままで、町民と

一緒に協働の町づくりが

出来るのか。

町長 協働の町づくりは

大事なことです。先ず

自分たちの事は自分たち

で、その事が基本だと思

います。

学童保育の充実

野村 生八 議員

質問 旧3町で、学童保

育の状況は違う。国は来年度、全小学校区に学童保育などの設置の予算を予定している。子育て支援として、学童保育・放課後支援は重要で、一層の充実をもとめる。

福祉課長 今年の夏休

みには生徒が増え、場所を増やすなど要望にもとづき対応している。今後も

状況を見て必要な方向で

取り組む。

図書費の増額

質問 合併前に比べ、図

書購入費が減っている。

合併で、岩滝の本館と加

悦・野田川分室の3箇所

で図書館事業を運営して

おり、専任の館長を配置

することや、効率的な運

営など改善が必要であ

る。何より図書費が少な

すぎる。現状は。

教育推進課長 開室日・

時間など充実し、来室人

数、貸出し冊数など増え

た。図書の情報システム

を導入しており、本の移

動はできるので、一層効

果的な運営に取り組む。

石川診療所

先生の往診は

小林 庸夫 議員

質問 石川直営診療所の

先生は往診をされるのか。

保険課長 現在は往診さ

れてない。要望があり、

時間の都合がつけば対応

は可能と聞いている。



賛成討論 暮らし向上への
努力が読み取れる
野村 生八 議員

旧3町の良さを引き継

ぎスタートした与謝野町

は駆け込み事業を抑え、

借金をほとんど増やさ

ず、基金のばらまきもさ

れていない。また、基本

的に住民サービスを切り

下げることなく、充実に

取り組んでいる。

このように、合併年度

の決算としても高く評価



医療サービス充実を（石川診療所）

できる。旧町の町長・職

員が、住民とともに新し

い町を大切に思い、1年

間努力された内容が読み

取れる決算である。

今後町長・職員が住

民とともに、持続可能な

まちづくりを基本に、21

世紀型の新しい町づく

りに、引き続き取り組む

よう期待する。

9月補正予算

一般会計2号補正 1億9,118万円追加

平和通り改修…
…5,151万円
学校耐震診断…
…3,267万円
子ども医療事業…
…2,128万円

●8月と9月の補正予算

【単位:万円】

補正予算名	補正額	累計総額
一般会計1号	853	106億4,743
一般会計2号	1億9,118	108億3,861
特別会計	簡易水道1号	1,937 11億7,609
	介護保険1号	2,634 18億7,183
	土地取得1号	債務負担行為
	国民健康保険1号	1,129 10億1,619
	財産区1号	32 938
	水道事業(1号)	収益的収入 364 1億5,652
		収益的支出 600 1億7,075

九月議会での補正予算額は、別表のとおり。
一般会計2号補正では16人から質疑があり、熱心な議論となりました。特別会計も含め、全員賛成で可決しました。
なお、八月臨時議会(十三ページ参照)で提出された一般会計1号補正予算案では、男山公民館建設問題などで夜十時前まで、厳しい白熱した質疑が交わされ、賛成多数で可決しました。

〔一般会計補正1号〕
〔主な事業〕(単位/万円)
●指定管理者・管理料
・旧尾藤家住宅 一八七
・加悦古墳公園 三六六
・野田川森林公園 四二五
・わくくぼる 六三三
・椿資料館 八〇
●男山公民館建設・追加
一、〇六五
質疑 伊藤・今田・谷口・野村・上山・赤松・井田・有吉・浪江・家城・勢旗・多田・小林・森本

〔一般会計補正2号〕
〔主な事業〕(単位/万円)
・子ども医療事業 二、一二八
・学校耐震診断事業追加 三、二六七
・障害者福祉サービス事業 一八〇
・地域交通(バス)対策事業 七八
・AED自動体外除細動器 24台配置 七五六
・平和通り改修(岩滝) 五、一五一
・NHK全国放送公開番組 四六二
・全国消防操法大会出場 六四九
・リフレかやの里・工事請負 一、三〇〇
・小規模治山事業 一四一
・災害に強い森づくり事業 一、四〇〇
・災害復旧 七二五
質疑 浪江・小林・家城・勢旗・服部・伊藤・畠山・谷口・森本・有吉・井田・今田・廣野・野村・上山・多田



祝全国大会出場！岩滝方面隊

AEDの設置場所は

浪江 郁雄 議員

質問 AEDの設置場所と台数は。

企画財政課長 各庁舎、小学校、中学校、知遊館、クアハウス、ユースセンター、わくわくばる、双峰公園、リフレかやの里、野田川診療所、一字観公園、地域公民館、中央公民館の合計24台。

講習会は

質問 町として講習会を計画されているか。

総務課長 宮津与謝消防組合で講習会を実施されている。職員は受講した。学校関係者については随時、講習を受けていく。

加悦奥グランドゴルフ場工事は

勢旗 毅 議員



加悦奥グランドゴルフ場

質問

加悦奥グランドゴルフ場は年間七千人を超える利用があり、地元も管理で頑張ってもらっているが、補正での工事の内訳は。

住民環境課長

一番上のグランドで水路が埋まった状態になっており、U字溝を入れ蓋をかけるのと、大きいグランドも柵に詰まったり排水が悪いのでこれらの改良を予定している。



今後の地域バスのゆくえは…

地域バス

検討委員会とは

伊藤 幸男 議員

質問 地域交通対策の委員会とは？

企画財政課長 バス会社や社協、PTA、商工会などで構成し、町民要求にそった計画にしたい。

選挙に係る職員手当と民間報酬の差

谷口 忠弘 議員

質問

本年四月に、知事選・町長・町議選が行われたが、選挙に係る民間の方の報酬と職員の手当の差は。

総務課長

民間の方の立会人等の報酬は、時給八百三十円、職員の手当は時給約二千五百円です。

質問 職員の手当の基準はどこにあるのか。

総務課長 通常の超過勤務手当の基準となっている。

なぜ3倍以上の格差が

質問 この格差をどう思っておられるのか。

町長 公務員は仕事の延長なので決まったルールの中で支払いがされているので仕方がない。

質問 この格差を是正しようと思わないか。

町長 仕事の中味が違うのでこの差を一律に考えるのがおかしい。

除雪対策は万全か

質問 小型除雪機を10台保有したが、設置箇所と又貸与されると聞いているが、その使用基準は。

建設課長

燃料費と保険料は町の負担、維持管理は区でお願いしたい。又設置は現在5地区8台の要望を聞いている。

旧役場オープンで活性化を

森本 敏軌 議員

質問 ちりめん街道の拠点として活用が待たれ、活性化に繋がりたい。

商工観光課長

地元有志で有限会社を設立、1階の一部で喫茶、産品販売などの活用がされる。



ただ今建設中！完成またれる男山公民館

公民館の建設 財源に衛生P基金も

井田 義之 議員

質問 衛生プラントの建設基金は使用料等の運用の中から、今後の安定運営の為積立てられた。

男山公民館への流用に疑問を感じる。

企画財政課長 合併時に事務組合等の基金は統一した。今後の修繕、車両等に必要な財源は基金残、起債などで対処する。

障害者施策の充実

野村 生八 議員

質問 作業所食事助成金の内容は。

福祉課長 低所得者の給食費を半額にするもの。

質問 障害者自立支援法で、町の負担はいくら減るみとおしか。

福祉課長 試算によると、3か月分で七三〇万円減少する。

質問 国の障害者制度の改悪で、事業所、障害者の親の負担は大変であり、減少した予算で今後も一層の支援を求める。

福祉課長 状況や願いにもとづき、できる支援は取り組む。

リフレかやの里 誘客改良工事の概要

上山 光正 議員

宿泊棟非常口設置

質問 客室は、厨房に近く最も危険な場所、非常口の設置で身障者及び客室の安全は保てるか。

農林課長 消防法が目指す宿泊棟の安全基準よりも高く、予想される厨房火災の想定より安全度が高くなる。

浴室・休憩所の改修

質問 女子脱衣所入り口の目隠しには、鉢植えの植え込みも有効な手法、男子脱衣所壁面の剥がれが酷い状態、張替えも工事費に含むのか。

農林課長 壁・緑を配した快適な方法で壁面も補正予算の範囲内で補修したい。

廊下カーペット張替

質問 宿泊室・リネン・厨房の通路は構造的に問題点が潜む、適正な材質の検討を望みたい。

農林課長 ご指摘の通りで、適切な材料等を検討した上で廊下の補修をしたい。

目的達成と到達点は

質問 食と健康の拠点施設で農事者が受けた恩恵と、農産物・ハーブの苗等の販売で得た受益の普及効果と指定管理者への期待度とは。

農林課長 個人の恩恵は別として、旧加悦町の農業振興に大きく資する効果は、十分受けており、指定管理者には、設置目的を認識した上で運営を願えると思っている。



リフレのハーブ部門を 直営にしては

多田 正成 議員

質問 官民が力を合わせて事業展開するはずの第三セクターが官民のなれ合いによって全国相ついで厳しい状況になっていきます。当町のリフレは献身的な経営努力がされていて、一定の評価をしていくが、それでも今後の経営は厳しいと予測される。今後の行政の関わり方が大変重要になって来るので、総合的に考え、ハーブ部門を行政の直営にされては。

農林課長 私の立場では非は言えないが、今までに切り離す考えはなかった。

質問 官と民との責任の範囲を明確にしないと町

民の理解が得られない。

農林課長 今後その事も含めて理事者とも議論をする。

道路建設の強制力

質問 当町には不利用地や工事中断道路がある。私が言いたいのは、途中で中断しなければならぬような交渉の仕方です。工事にかかるべきでない。町道など強制力がなければ特に言える事です。当然地権者の方々にも様々な思いや事情がある事も充分理解した上で計画をしなければ、折角の道路が完成しないまま財源が無駄になるが、強制力はどうのようになっていくのか。

建設課長 強制力と言うより道路計画が法の元であるか、地域の要望によるものかによって違う。国府だから町だからという問題ではない。

質問 計画の前に予定地を充分調査した上で確信の度合いで無駄のないようにして頂きたい。

ほかの審議案件

条例改正

特別職の報酬に関する 条例の改正

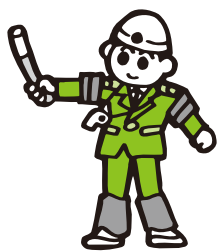
昨年の人勧による引き上げをしていなかったため、町長ほか特別職の一時金を5%引き上げて戻すもの。

質疑 伊藤
(賛成多数)

特別職だけの引き上げ
納得できない

伊藤 幸男 議員

質問 合併して半年、財政も厳しい中、特別職だけの引き上げは、住民も納得しない。
総務課長 人勧どおりに戻すもの。ご理解を。



児童・生徒医療費を現 物給付に変更する条例 改正

11月から窓口無料化の
ための改正

(全員賛成)

賛成討論 子育て支援の 大きな前進 畠山 伸枝 議員

この条例は、子どもの医療費の一部負担金を窓口で無料にするためのものであり、住民の永年の願いであった。少子化対策の充実が課題となっている中で、子育て支援の大きな前進であり高く評価するものである。

子どもの医療費無料化は、旧野田川町政の象徴的な事業であり、当時与謝郡全体に一斉に広がった。この制度を高校卒業まで行う自治体も出てきた。

今後、府へ無料化制度

充実を求めつつ、子育て支援の一層の充実や暮らし応援の施策を求めたい。

正 国民健康保険条例の改

出産一時金を30万円から35万円に引き上げるもの。また、現役並み所得のある高齢者の医療費を3割に引き上げるもの。

質疑 野村・上山
(全員賛成)

賛成討論 医療費 負担増には反対 野村 生八 議員

税金、介護保険料などの負担増の一環として、国が高齢者の現役並世帯医療費を3割に引き上げるもので、反対である。しかし、住民の願いである、出産一時金の5万円引き上げを含んでおりこの条例には賛成する。

消防組織法関連の条例 改正の整理

(全員賛成)

その他

岩屋西部辺地の総合整備 計画策定

質疑 勢旗・井田・今田
(全員賛成)

地元との協議は充分か

勢旗 毅 議員

質問 岩屋川に沿った新設道路と宮の下水路との間に空き地が残るが、地元との調整は充分出ているのか。

建設課長 平成十一年頃地元とも協議が整ったと聞いているが、合併後五月になって地元での説明会を行い事業を進めており、現時点での法線の変更は厳しい。



大草原 ニヶ原の開発は？

宮の下水路の改修は

質問 新設道路を宮の下水路に沿って欲しいとの要望には、この水路改修の期待も含んでいるが。

地域振興課長 日陰で冬季には事故も多く、区にお願したところ出来るだけ岩屋川に近い線でまとめた。宮の下水路の改修は難しいが、新設道路の側溝を水路に併用させ農業用水路として通水するよう考えている。

地元との約束は

質問 福祉の里が建設される時、ニヶ(ニガ)原の開発を含め加悦町への峰越しの道路が出来るんではとの思いが地元にあったと聞いているが。

町長 当時、要望はあったとしても直接聞いた記憶もなく結論は出していない。





改良される下谷林道

平成18年度 下谷林道改良工事請負 契約の締結

契約金額5565万円
質疑 井田・森本・
伊藤・野村
(賛成多数)

下谷林道

一部分二重契約

井田 義之 議員

質問 17年度事業の追加
補正で議決した80mが、
今年度の請負契約にまた
含まれている。二重契約
でないのか。

農林課長 80mの重複は
設計を見直し精査して議

会に提案すべきであった
が、府との調整・工期な
どから時間的に間に合わ
なかった。反省し補正で
対処する。

平成18年度 下谷林道改良工事請負 契約の変更

この契約は前掲の工事
を80m縮減するもの。

契約金額5565万円
を4934万円に変更す
るもの。

質疑 井田

(賛成多数)

石川地区面整備1工事 請負契約

下水道工事に伴う道路
整備。

契約金額6300万円

質疑 井田

(全員賛成)

市場簡易水道送・排水 管布設工事

四辻浄水場で作った水
を市場配水池に送水し、
計画給水区域に配水する
ための工事。

(全員賛成)

加悦簡易水道算所浄水 所改良工事請負契約

(土木)

請負金額8242万円

質疑 井田・勢簾

(全員賛成)

加悦簡易水道算所浄水 所改良工事請負契約

(電気関係)

請負金額9975万円

質疑 井田・勢簾

(全員賛成)

男山公民館新築工事請 負契約

昭和34年建築の建物を
老朽化により立て替える
もの。

請負金額6930万円

質疑 上山・伊藤

(賛成多数)

賛成討論 区民の福利厚生を 最前提に 上山 光正 議員

男山公民館新築工事の
締結に賛成の立場で討論
を行います。

この事業は平成14年か
ら旧岩滝町と男山区が取
り組まれ、予算の取得も、
建設原資の問題点も「町
と区」の信頼関係の絆が
厚く、口頭でのみ約束さ
れ、文書契約は交わされ
ていなかった訳です。

合併により区有地寄付
が条件という苦渋の選択
をせまられた男山区の住
民感情を考え、数字的変
動は別として区民の福利
厚生を最前提に、地元負
担の軽減を図るべく展開
を提言して賛成の討論と
します。

前号(第1号)の訂正とおわび

議会広報委員会

与謝野町議会だより 第1号に原稿もれがありましたので、訂正しておわび申し上げます。

→P.3の「議会運営委員会」に「野村生八」議員がもれていたもので、追加訂正します。

8月臨時会

さる八月二十一日、臨時議会が開かれ、指定管理者の指定16議案や請負契約3件、一般会計一号補正予算が提出。原案どおり可決しました。

一般会計補正一号

・補正一号は、四ページ「補正予算」表と補正解説を参考にして下さい。

指定管理者

指定管理者指定について

応募がない場合は町の直営となる。大内峠一宇観公園は直営となった。

この制度は公的施設の管理に民間が参入する施策として創設されたもので、公募施設と非公募施設がある。

- ⑤ 質疑 野村
- ⑦ 質疑 伊藤・有吉・野村・井田・赤松・上山・浪江
- ⑧ 質疑 山城・勢旗
- ⑨ 質疑 赤松
- ⑩ 質疑 多田
- ⑪ 質疑 上山
- ⑫ 質疑 有吉・小林
- ⑬ 質疑 伊藤・有吉・野村・井田・赤松・上山・浪江
- ⑭ 質疑 山城・勢旗
- ⑮ 質疑 赤松
- ⑯ 質疑 多田
- ⑰ 質疑 上山
- ⑱ 質疑 有吉・小林

※①④は賛成多数。そのほかは、全員賛成で可決。

ケーキ工房の

有効的活用と方向性

山城 功議員

質問 ケーキ工房はリフレかやの里と同様、農業施策の一環とした施設だが現況は。

農林課長 農産物を活用した交流施設。思いとしては、ハーブを利用した

ケーキの特産品開発と、リフレ利用客等に加工体験をと考えていたが、従業員も育たず、リフレ利用客等の体験も少なく、現在は旧加悦町の業者に技術指導と運営をしてい

ただいているのが現状。

質問 指定管理者制度は、民間の経営ノウハウを活かし、顧客サービスの向上と行政の経費軽減、すなわち経営改善することが目的の制度であり消費者ニーズの変化等、当初の考えでは運営できないものに関しては、利用変換もしくは廃止売却も含めて考えるべきである。そういった流れも踏まえ今後の有効的活用に向け注目している。

農林課長

リフレと一体的に運営するのがベターと考えている。リフレッシュ丹後と十分協議しながら施設運営に努める。



今回可決された指定管理者施設

番号	施設名	公募/非公募	指定管理者名	指定期間
①	幾地コミュニティ広場	非公募	幾地区	2年7月
②	加悦椿文化資料館	非公募	(有)明人夢村	2年7月
③	旧尾藤家住宅	非公募	ちりめん街道を守り育てる会	2年7月
④	古墳公園	非公募	ふるさと産品(有)	2年7月
⑤	ホームヘルプステーション	非公募	(福)北星会	2年7月
⑥	石川農業構造改善センター	非公募	石川区	2年7月
⑦	食と健康の拠点施設 (リフレかやの里)	公募	(株)リフレッシュ丹後	2年7月
⑧	地域農産物等活用型交流施設 (工芸の里ケーキ工房)	公募	(株)リフレッシュ丹後	2年7月
⑨	大豆・米乾燥調整施設 (与謝・峠)	非公募	与謝中山間振興会	2年7月
⑩	生産物特産加工販売施設 (ちんざん)	非公募	(有)明人夢村	2年7月
⑪	冷凍米飯加工施設(香河)	非公募	(株)加悦ファーマーズライス	2年7月
⑫	ツバキ育苗温室	非公募	京都千年ツバキの里育苗グループ	2年7月
⑬	加悦生産物販売施設(道の駅)	非公募	タンゴフロンティア(株)	2年7月
⑭	野田川森林公園	非公募	(財)コミュニティ野田川	2年7月
⑮	旧加悦鉄道加悦駅舎	非公募	加悦町観光協会	7月
⑯	勤労者総合福祉センター (野田川わーくばる)	非公募	(財)コミュニティ野田川	2年7月

請負契約

阿蘇シーサイドパーク
施設整備工事請負契約

町民の憩い・レクレ
ション活動の場。現在旧
岩滝町に建設中の継続事
業。

質疑 森本・今田・

井田・上山

(全員賛成)

阿蘇シーサイドパーク

有益な整備に

森本 敏軌 議員

質問 今日まで芝生広場
も整備され、今回、駐車
場、池の整備が施工され
るが今後の整備計画、事
業費は。

建設課長 総面積6.2ハの
内3.3ハ整備、残り2.9ハに
ついて毎年1億円ぐら
いを計上し平成24年ま
での計画で、最終的に
31億3千万円という全体
計画だ。

山手線法面整備工事請
負契約

質疑 井田

(全員賛成)

市場簡易水道排水施設
新設工事請負契約

質疑 井田

(全員賛成)

意見書

北朝鮮による日本人拉
致問題の早期解決を求
める意見書

——全会一致で可決

この意見書は、勢旗毅
議員ら4人から提出され
たもの。

(意見書の要旨)

北朝鮮による日本人拉
致事件は日本国家の主権
と国民の人権に関わる重
大問題であり、1日も早
い救出と真相解明は国民
の願いである。今こそ、
その解決のために、総力
をあげ外交と対話を継続
し、経済制裁の発動など
厳しい措置も含め、主権

国家として毅然とした対
応を強く求めるもの。

(審議経過)

本会議での質疑の後、採
決が行われ、全員賛成で
可決しました。

質疑 今田

陳情書・要望書

六月議会以降、与謝野
町議会に寄せられた陳情
書や要望書は、次の通り
です。

「集配局の廃止再編計画
に反対する意見書」採択
を求める陳情書。

▼提出者 全国労働組合
総連合(議長・坂内三夫)

中国における法輪功学習
者の臓器摘出の実態調査
を求める陳情書。

▼提出者 特定非営利活
動法人・日本法輪大法学
会(代表・鶴蘭雅章)

議会だよりの掲載記事と、お願い

与謝野町議会広報特別委員会

「与謝野町議会だより」は旧「加悦
町議会だより」方式をとっており、
掲載記事については、本会議での質
疑・討論と理事者答弁含め、発言議
員が責任を持って作成し提出したも

ので、基本的に大きな間違いがない
限り、原稿どおり掲載しています。

もちろん、各議員の提出原稿の枠
の制約があります。〔一般質問は40
行。質疑は50行。討論は30行など〕



京都市で開催された議会広報研修会

「水・緑・空、笑顔かがやくふれあいのまち」を――

一般質問

17議員が質問

ここが聞きたい

〔質問通告の内容と質問者〕

- ①官から民への流れを問う
服部 博和 議員
- ②有線テレビを全町に延伸すべきでは
森本 敏軌 議員
- ③もったいない 31億かける必要性
谷口 忠弘 議員
- ④今だからこそ行政サービスの充実を
家城 功 議員
- ⑤官学共同で新しい産業の創出を
勢簀 毅 議員
- ⑥集配業務の廃止に反対の考えは
畠山 伸枝 議員
- ⑦町の活性化に新企業の誘致を
廣野 安樹 議員
- ⑧地域振興課に期待・すぐやる係の設置
有吉 正 議員
- ⑨出産育児一時金の受領委任払いを
浪江 郁雄 議員
- ⑩安全な水をより安く
野村 生八 議員
- ⑪住民が納得できる「行革プラン」を
伊藤 幸男 議員
- ⑫郷土愛を育む学習について
小林 庸夫 議員
- ⑬小学校の今後、このままで良いのか
井田 義之 議員
- ⑭平等な町税等の収納推進を
上山 光正 議員
- ⑮大型店 P L A N T 出店の現況と展望
赤松 孝一 議員
- ⑯全町民の真の一体化について問う
多田 正成 議員
- ⑰効率的なまちづくりにむけて
今田 博文 議員

官から民への流れを問う



服部 博和 議員

町長 → 官から民への改革は重要だ。
充分検討する。

質問 一、町民参加や民間委託を前提として、町の業務を分業する検討を進めては。

二、町民参加を行政パートナーとして定着させるため、NPOの育成は欠かせないので、それらを育成する方策や講座等を検討されるお考えは。

三、町民と行政が協働してまちづくりを推進する事を基本理念と定めた条例をつくり、町民参画を促進されてはどうか。

四、新町誕生を機に時代に即応したスリムな行政を目指した将来ビジョンを策定されては。

五、構造改革を図って行く中で最も重要な事は、

町民との共通認識、意識の共有であると思う。これらを推進する為には、職員の意識改革が必要でありその上高度な政策プロ集団化が不可欠であると思うが、所見を伺いたい。

町長 少子高齢化により厳しい財政状況が予測される中で分権型社会システムにシフトして行かなければならない。その中で住民団体、NPO、企業等と提供して行く必要がある。またそれらの団体等に指導できる政策形成能力の向上に向けて職員の研修に取り組んでいく。



新町に期待することあれこれ
(地域懇談会)

有線テレビを全町に延伸すべきでは

森本 敏軌 議員

町長 → 地域情報化全般について調査研究している



質問 旧加悦町の有線テレビは、与謝野町各地域の祭、議会、町の行事など映像と字幕で情報提供されている。誰でも簡単に見られ、インターネットもできる。一体感の醸成、行政サービスの公平からも情報の共有は大きな役割を果たす。全町に延伸させるべきでは。



災害防止！みんなの力で

町長 放送と通信、防災行政無線をセットした方法で最も効率的で、地域間格差のない一体感が醸成できる進め方が必要で、二重投資にならない様、費用対効果と合わせ調査研究している。

教訓を防災計画に

質問 台風23号災害について、避難勧告、指示の基準など検証総括されている。この貴重な教訓を生かし与謝野町に適合する防災計画の樹立を。

町長 貴重な教訓を生か

し、与謝野町に適した内容に構築したい。また行政、消防団、自治会、住民、それぞれの役目を明確にした基本的なマニュアルを検討している。

災害への支援基準は

質問 個人住宅の土砂災害は命にかかわり、支援とその基準が必要では。

町長 個人の財産は個人が守ることが基本であるが、災害の状況によって判断し、併せて支援基準についても考えたい。

もったいない

31億かける必要性



谷口 忠弘 議員

町長 → 町民の憩いの場として活用したい

質問 合併しても財政が安泰ではない。今後は行財政改革は当然だが多額な費用をかけての事業には、事業の必要性、費用対効果、完成後の維持管理等々慎重な判断が必要と思うが、阿蘇シーサイドパーク整備事業の必要性はどこにあるのか。私は一定の見直しが必要と考えるが。

町長 標を設定し客観的に評価するシステムが必要では。事業の点検見直しが重要であると考え。

町長 住民に対しアンケート調査をし計画を進めている。又避難場所としての活用や、他の施設と連携する、誘客施設となり得ると考えている。

事業評価システムとは

質問 今後は事業の成果について具体的な数値目



整備途中の阿蘇シーサイドパーク

又今後は民間の方にも一緒になって事業評価する組織を立ち上げたい。

質問 多額な費用をかける本事業の評価システムは。年間の維持管理費はいくら程かかるのか。

町長 できていない。維持管理に年間約316万ほど必要である。

全町的なイベントに!!

質問 温泉まつりを岩滝地区以外の人にも参加しやすい工夫を。

町長 工夫したい。

今だからこそ 行政サービスの充実を



家城 功 議員

町長 → 高い住民満足度を求めて邁進することが必要

質問 新町になった今だからこそ真の行政サービスが問われるのでは。

町長 自助、共助、公助の考えの元で責任と自覚をもって職務にあたる事が大切だと思う。

行政と地域との連携

質問 地域との連携は密にとり相互の役割と責任を明確にすべきである。

町長 地域と住民、行政と地域、それぞれパートナーシップが良い方向に進むことが大切であり職員の対応や考え方についても指導していきたい。

ゴミ問題は

質問 現在可燃ゴミは宮津市清掃工場で処理されているが住民の立場で再

契約は強く望むべきである。

町長 宮津市へ継続使用の申し入れをし、誠意を持って対応するとの回答があった。又、今後の町のゴミ問題についての取り組みやプロジェクト

の強化にも必要だと考える。

情報発信こそPR

質問 当町の情報伝達の手段は格差があり今後の対応が問われる。又外部への情報提供は町のPRに継がり大切な役割である。

町長 情報化の地域格差の少ない進め方が必要であると考えるが財政基盤の弱い当町では慎重に進める必要がある。

府道野田川加悦線

質問 地域安全のためにも強い要望をお願いしたい。

町長 厳しいが要望する。



先行き大丈夫？（宮津清掃工場）

官学共同で新しい産業の創出を

勢旗 毅 議員

町長 → 地元の素材をどう生かせるのか検討したい。



質問 新しい産業を創出

するため、大学との共同研究や連携は欠かせない。旧町でも東京農工大や京都工芸繊維大学との取り組みを進めてきた。蚕の人工飼料育を共にやってきた島根県の日原町では、今では人工飼料育の技術からバイオに発展、冬虫夏草として内閣

府の知的戦略会議に取り上げられている。大学との共同研究や連携は将来の町を変えると確信しているが。

町長 大学との連携は、インパクトの強いスキルを強める取組だが、それ以前にこの町の素材をどのように生かすかの検討が必要で慎重に取り組みを検討したい。

農用地除外の見直しは

質問 旧野田川町では、プラント用地の除外で3

年程ストップがかかっているため、この間農用地除外の申請そのものが出来ず、変更を求める農家は非常に困っておられるが、プラントに係る農用地除外の見直しは。

町長 国の法律の調整もあって、除外の見直しを述べる段階ではない。

ただ、今後、農用地除外の申請については、なんとか並行して除外手続きがとれるよう、府と協議をすすめたい。



蚕の人工飼料育（平坂給餌）

集配業務の廃止に反対の考えは

畠山 伸枝 議員

町長 → 経過を見守りたい



質問 岩滝郵便局は来年三月から集配業務が廃止されようとしている。郵政公社はきめ細かな対応が可能というが、局長はサービス低下が心配と言っている。集配業務廃止に対して明確に反対をしている自治体もあるが町長の考えは。

町長 岩滝局が無集配局になるのは非常に残念だが、サービス水準を維持するという郵政公社の約束を信じて経過を見守りたい。

介護ベッド取らないで **質問** 介護保険法が改正され、要介護度の低い人は、今まで利用していたベッドや車イス等を取り上げられている。介護度の見直しで要支援になりサービスが受けられなくなった人もあ



今後も見守りたい（岩滝郵便局）

る。ベッドがないと立ち上がれない人や、車イスがないと外出できない人から福祉用具を取り上げるような国の改悪に町から手をさし伸べて。

町長 関係者からの事前の話し合いでトラブルは発生してない。
福祉課長 車イスや移動ベッドを使うことによって介護度が進むことを防止できることもあるので今後検討していきたい。

町の活性化に

新企業の誘致を

廣野 安樹 議員

町長 ↓ 企業の進出を探すが、近隣と連携で



質問 本町でも、人口の減少化が進んでいる。特に若い方の都会への流出が進み、出生率の低下、高齢者率の進展等で地域の不安が高まっている。

変重要ではないか。
町長 府の若年者就業支援センターと連携し就職支援に努めてまいりたい。

町長 府の協力を頂き、進出企業を探す。また通勤可能な近隣市町との連携で取り組みたい。
旧町での誘致企業の流出対策にも努めたい。

若者の就労の場を

質問 現在の雇用状況は厳しいが、若者の就労の場を創出することは、大



町も活性化！がんばる企業

本年度厚生労働省の地域雇用創出調査研究事業の実施決定を受けたので調査し12月下旬に結果を出し、調査報告書を基に町の政策を展開したい。
動物の焼却場の設置を **質問** 動物の死去に対し焼却埋葬の希望者が多い。病気等で亡くなった動物は焼却が望ましいが、物の処理が必要であり、当町で取り組む考えはない。

地域振興課に期待 すぐやる係の設置



有吉 正議員

町長 → 住民要望に早急な対応を心がけている

質問 要望書が区を通して町へ出されている。小さな、道路・側溝等修理など職員でできないか。

に合った対応を心がけていく。

町道の巡回

質問 一市四町の合併協議では道路の巡回が決まっていたが、要望書が出ていなくても日々の管理体制が大事。

町長 地域振興課には地域の様々な意見、要望等頂くが、係名は異なっても、早急な対応を心がけている。各担当課と連携を図りながら、緊急度

町長 合併後の町道の路線数は、681路線、



草刈も大変な作業（野田川堤防）



19.5 kmあまりの膨大な

もので、各地域振興課とも連携し、町道の巡回について現在模索している。区、町民を通じて道路破損等通報があれば、簡易アスファルトで対応できるものは職員で実施している。

道路・堤防の草刈

質問 農地と隣接する法面は農家がされている。整理する必要がある。

町長 最低必要な路線は、業者、地元農事組合等に発注している。財政的に困難。

河川管理―草刈

質問 区民総出の草刈は困難になっている。対策を。

町長 各区様々、一定の方向を出し、報告する。

出産育児一時金の受領委任払いを

浪江 郁雄 議員

町長 → 来年度より実施の方向で準備を進めていく



質問 出産費用を支払った後に受け取る出産一時金を、町が直接医療機関に支払う受領委任払いに。

町長 実施に向けて医療機関と調整をしていく。

高額療養費受領委任払

質問 予期せぬ家族の病気で経済的負担軽減を。

町長 来年4月実施の予定で準備を進めたい。

軽度発達障害の支援策

質問 学習障害や注意欠陥多動性障害などの発達障害は、家庭環境の問題として誤解を受ける場合がある。早期発見、早期療育が必要と考えるが。

町長 健康診査で継続的な相談を行う。加配保育士や特殊支援の非常勤講師を配置している。今後支援を更に充実する。

ハート・プラスマーク

質問 内部障害者の支援策として、マークの普及、啓発、活用を。

町長 有効な取り組みと認識している。マークの

普及、啓発を支援する。

照明灯付横断歩道標識

質問 夜間の歩行者安全対策の一環として、クアハウス前に導入を。

町長 有効な標識であり、公安委員会に要望する。

橋立中バス停に屋根を

質問 雨天時では大変不便されているが。

町長 用地確保や経費などから難しい。

シユレッター事故対策

質問 保育所などの公共施設の安全対策は。

町長 事故防止に注意を喚起し万全を期している。



パパもママもボクも安心!!

安全な水をより安く



野村 生八 議員

町長 → 低所得層の減額は検討

質問 水道料金の格差を是正するため、交付税に繰入分が算定してある。

一般会計からの適切な繰入で、安全な水をより安く提供することは行政の責務で、53%の繰り入れでは少ないのでは。

また、格差社会のなか、より安い料金設定のランクが必要ではないか。

町長 交付税算入額を全て予算計上すれば、経費に不足が生じるので、水道会計への全額繰り出しはできない。交付税算定額が、交付税額と一致していないのではないかと

質問 野田川の無料検診



健康が一番！検診はすすんで受けて

が引き継がれたが、新町での検診事業の内容は。

町長 旧野田川町・岩滝町は、公民館で何日か

行っていた。今年は1日で済むように、4台の検診車が入る場所で行い、マイクロバスで送迎をした。検診結果相談は、相談しやすいよう公民館で行う。

質問 検診内容や趣旨が住民に理解されていない。理解を得られる行政システムが必要ではないか。

引き続き受診者を増やす取り組みを求める。

町長 今年の反省を、来年に活かして行く。

住民が納得できる「行革プラン」を



伊藤 幸男 議員

町長 → 住民参画で情報公開し、計画をつくりたい

質問 莫大な借金の反省もせず、未だにムダな大型事業を進め、金権腐敗の政治を続けながら、国は地方に行財政の「集中改革プラン」を強権的に求めている。もちろん地方行革は必要だ。大事なことは、自治体として住民の利益を守る公的役割を鮮明にし、全面的に情

報公開し、住民とともに新しい町をつくる立場で、全職員の英知を集めることだ。①どういう行革を進めるのか。②町長は50人削減をマニフェストで示しているが、広い面積と高齢化の町で、国の社会保障切り捨ての中、住民のサービス維持ができるのか。

町長 国の地方財政の締め付けは痛いほど実感している。町行革は住民参画で、情報を公開し、計

画を作りたい。職員の連携と総合的な地域力を高め、合併して良かったと実感できる町をめざす。行政サービス向上のために、職員50人削減は機械的に対応しない。

文化財の評価基準は
質問 行政の評価システムが強調されているが、文化財や教育はどういう基準で評価するのか。

町長 伝統文化は町の宝であり、財政を理由に削れない。



今日はきものの日（加悦庁舎）

郷土愛を育む学習について



小林 庸夫 議員

教育長 → 小学校から郷土教育を進めている

質問 地域活性化には、何をおいても若い人の育成ということについて、大人に課せられた大きな役目があると考えます。学校教育の中に、丹後地方に現存する古墳や神社などの歴史学習を取り組むことで、この地域に対する思いが一段と深まり、郷土愛・家族愛にも自然

とつながってゆくのではないかと思います。都市部と田舎のインフラ格差など、地域の発展のためにはどうにもならない壁が数々ある中で、何を中心に活性化を図っていくのか考える時、今ある資産を最大限活用することが大切と考えるが。

教育長 学校教育の場で郷土の文化と伝統を大切にし郷土を愛する心を持つという狙いのもとに郷土教育を進めている。又



丹後王国のあかし！数々あり

町長 災害の発生には万全を期したい。

質問 町政懇談会を実施され、多くの会場で小学校の校区の変更、統合等に関する質問があった。「子供達にどんな規模が適正か、教育環境について統廃合も含め検討委員会を立ち上げ協議する」と答弁されている。

子供達が主役の学校

一、適正規模とは。
一、検討委員会の立ち上げは何時か。

そのメンバーは。

一、当町の小学校の現状と将来、問題ないか。

教育長 適正規模には教育活動と財政、二つの視点があり、また学校教育施行規則の学級数から言えば当町は外れている。

小学校の今後、このままで良いのか



町長 → 緊急の課題と認識

井田 義之 議員

検討委員会は正式な名称でなく、立ち上げ時期、メンバー共に今後協議を要する課題である。

当町の極端なアンバランスは具合が悪く、格差を詰めるなど早く取り組み必要を認識している。

子供支援ネットワーク

質問 児童福祉法が改正され、虐待等の相談窓口が市町村に移行された。府内でも多くの自治体で組織を立ち上げられている。当町の対応は。

町長 児童相談所の指導を得て出来るだけ早い時期にネットワーク会議を設立する方向で検討する。

平成19年度～平成24年度 小学校入学予定児童数

平成 18 年 4 月 1 日現在

入学年度 学校名	19 年度	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度
加悦	40	29	31	28	43	25
与謝	15	15	20	12	14	11
桑飼	23	17	19	21	22	21
岩滝	71	43	47	56	48	47
石川	27	19	16	15	18	17
三河内	28	25	21	19	19	23
岩屋	14	6	7	5	7	2
市場	46	30	35	33	27	30
山田	27	21	20	15	22	15
合計	291	205	216	204	220	191

平等な町税等の収納推進を

上山 光正 議員

町長 → 公平性を保つ事が一番大切



質問 旧3町の町税・保険税・使用料の滞納繰越額、及び入未済額、不納欠損額は増大する傾向にある。これらの未収財源は町づくりに充当する大切な原資であり、与謝野町は法的手段に訴えても、滞納処理はできるか。

指定管理者選定後は

質問 管理者には「営利

目的」の強い施設と住民が「コミュニティー」を楽しむ施設に区分される。施設設置者として、前者に対する一定の投資と限度は、また企業感覚として利益の還元を求めるべきと思うが。

町長 平成一六年度と比較して滞納増加率は6%で、税及び公共料金は公平性を保つことが一番大切。

一部の方の未納、未払いを許してならず、生活困窮者には計画的な分納等により徴収し、法的処



納税はまちづくりの原点！



理はあくまでも処分が目的ではなく、納税・使用者の納付に対する理解を求める必要がある。

また指定管理者の件は、予算の範囲内で町が管理料を支払い、利用者への利益還元として住民サービスの向上を期待しており、町は一定の資本投資と考

大型店PLANT出店の 現況と展望

赤松 孝一 議員

町長 ↓ 噂ではPLANT
撤退との話も聞く



質問 プラント出店に対する現況と展望、大型店出店に伴う町道亀山中地線新設の進捗状況。出店のための農振地解除の申請を取り下げては。

町長 プラントの計画は抜本的に変更せざるを得ない状況になると予測する。噂ではプラント撤退の話も聞く。

地権者との契約締結ができないので道路法24条申請ができない。用途が立たない状況である。農地利用の中で農振解除申請が足かせになつており、早い時期に結論を出す。

質問 マニフェストの「頑張る企業や起業を応



出店あるのか？(PLANT 予定地)

んが自ら汗をかい頑張っていたことが基本。詳細部分は現在構築に向けてまちづくり本部会で課題施策の展開を検討いたしており、総合計画に反映したい。

質問 本庁舎と二つの分庁舎制度のあり方。公的施設の有効利用専門会議は設置され、検討されているのか。

町長 現在のところ立ち上げていない。まちづくり本部会で議論をしている。

全町民の真の一体化について問う

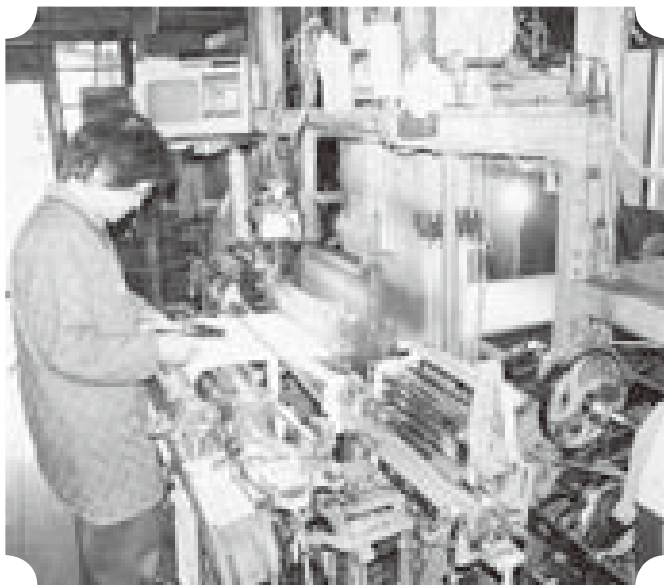
多田 正成 議員

町長 → 全町的イベントが大切で開催に向けて検討する



質問 与謝野町として町民意識、心、郷土愛を共通のものにして行かなければならない。産業、教育、文化、スポーツを通して全町的に一体感の持てる催事が必要では？

町長 融和を図り交流を深める事が大切だが、皆さんから沸き起こることが望ましいと思う。



まだまだ厳しい織物業

質問 新町の組織が完全には確立されていないのでは。最初は行政の主導が必要ではないか。

町長 その視点から全町的なイベントの開催を検討していく。

織物の現況課題

質問 呉服販売グループの倒産で産地への影響はさけられない。連鎖防止策や金融支援策等必要と考えるが。

町長 織物は経済の大切な

な役割を担っており企業者自らの力に頼らざるを得ない部分だが、府や商工団体等との連携を図り相談に応じる。

質問 総合産地化の強化と確率が業界の鍵と考える。行政は新素材の町、きものファッション発祥の地へと移行する支援策が必要と考えるが。

町長 丹後で組織する、たんごきものネットにも積極的に参画して行く。

効率的なまちづくりにむけて



今田 博文 議員

町長 → 行革委員会に策定をお願いしている

質問 合併の理念は効率的なまちづくりの推進にあり、改革のチャンスでもある。町長のローカルマニフェストにある職員50人の削減、経常収支比率などの改善はできるのか。

町長 一般職の職員は320人。50人削減すると15・6%の大幅な削減率となり大変厳しい状況ですが、行政改革推進委員会で職員適正化計画の策定をお願いしております。財政指標の改善は経常経費の抑制を指示している。

公民館事業の効果は

質問 公民館活動は旧野田川町で活発に行われて

きました。今年はモデル地区をつくり全町に広げる計画だが。

教育長 3館のモデル事業を行なう。地区公民館の主体的な取り組みは町



地域の拠点（下山田公民館）

の社会教育のベースとなるもの。地域社会のコミュニティを推進していくためにはなくてはならないものと考えている。

全国椿サミットの開催

質問 町の木は椿に決まりました。椿は昔から多くの人に愛されてきました。新町誕生を機に椿の祭典、全国椿サミットの誘致が出来ないか。

町長 行政と町民が一体となり椿の里としての醸成を図りながら、時期をみて検討していきたい。

まちの宝 子どもページ

三河内小学校の紹介

2学期は、「体験・ふれあい・感動する心」を大切に活動を行っています。児童、学年の頑張りが発揮される学習発表会は、楽しみです。10月には新しいブランコが設置され、増々元気な三河内の子供達です。



■3年 今田 曜介



■3年 立川 美希



■4年 岩本 舞子



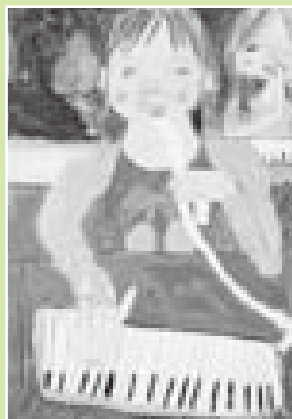
■4年 澤田 冬弥

岩滝小学校の紹介

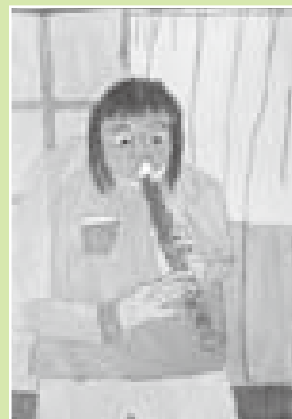
岩滝小学校では、京都府教育委員会から「京の子ども夢・未来校」の指定を受けて、「自分の考えをもち、いきいき伝え合える児童の育成」を目指して、国語科の研究を進めています。又、過日開催の与謝地方小学校駅伝大会で岩滝小Cチームが大会新記録で優勝しました。



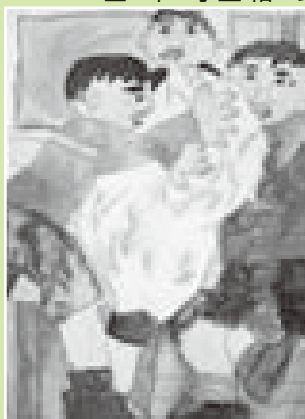
■1年 小室 裕二郎



■2年 為村 周



■3年 矢野 美鈴



■4年 山添 貴也



■5年 小室 美紅



■6年 坂田 晴香

編集後記

▼期待と不安の安倍内閣がスタートした。新聞では、北朝鮮のミサイルや核実験、中学生のいじめによる自殺、公務員の不祥事と、夢や希望のないニュースばかり▼3月にスタートした与謝野町は、町民の皆様の夢と希望がいっぱい詰まった町にしたい。議会は皆様の代弁者として、太田丸の監視役▼町の議会の姿を正確に解りやすくお伝えするのが議会広報の役割です。8月には広報委員会研修会にも参加した。より良い広報誌づくりに益々がんばる思いです▼皆様のご意見やご提案をどうぞお寄せ下さい。（家城）

議会広報特別委員会

委員長 伊藤 幸男
副委員長 家城 功

畠山 伸枝
上山 光正
小林 庸夫
今田 博文
浪江 郁雄